

六郷満山のお寺の多くは養老2年(718年)に仁聞菩薩により開かれたという伝説があり、この養老2年から数えて平成30年(2018年)は1300年目を迎えます。

歴史体験学習館では、昨年度開催の「六郷満山霊場の寺宝展」に続き第2弾として、本年度もプレイイベント「修正鬼会の世界展」を開催中です。

今後、国東半島宇佐地域・六郷満山開山1300年誘客キャンペーン実行委員会による様々なプレイイベントが予定されていますが、当館での各寺院等が所有する貴重な六郷満山に関する展示は、これで最後となります。

「六郷満山文化」とは、国東の文化を表す代表的な表現ですが、修正鬼会には、神仏習合をはじめとする六郷満山文化の様々な要素が盛り込まれており、とても貴重な民俗行事として昭和52年(1977年)に国指定重要無

形民俗文化財を受けています。修正鬼会には現在では、豊後高田市の天念寺と国東市の岩戸寺・成仏寺(2016は休止)の3ヶ寺だけでおこなわれていますが、江戸時代には六郷満山の多くのお寺で盛んに行われていたようです。今回の展示では国東市、豊後高田市の20ヶ寺から借用した鬼会面など約100点が展示されています。個人で所有している面もあり、これだけの数が1カ所で見られる機会はめったにありません。では是非ご来場下さい。



両子寺 荒鬼面

【問合先】 国東市歴史体験学習館 ☎0978-72-2677

開催期間 10月1日(土)～12月25日(日)
会場 国東市歴史体験学習館「弥生のムラ」1階企画展示室

六郷満山開山1300年祭プレイイベント 「鬼とかす仏」～修正鬼会の世界展～

教育の里だより



GO! 1300年

六郷満山開山1300年に向けた受け入れ態勢の整備を!!

2年後の2018年に、六郷満山開山1300年を迎えます。国東市では、観光客の受入態勢が最重要課題と考え、観光ガイドの育成や宿泊客や食のおもてなしの充実強化を図っていきます。

ボランティア観光ガイドを募集します

国東市には、国東半島のことをよく知ってもらいたい、好きになってもらいたい気持ちから観光ガイド3団体とトレイルガイド1団体が活動しています。観光に來られたお客様に満足いただけるように、国東市観光協会では、次のメニューによりガイド育成を実施します。

○観光ガイドコース(六郷満山文化・世界農業遺産) 6人程度

11月～3月の5回コース

1回目は、11月25日(金)文殊仙寺ライトアップ時に研修会

○国東半島峯道ロングトレイルガイドコース 6人程度

11月～3月の5回コース(イベント時に研修)

1回目は、11月26日(土)K-2コースイベント時に研修会

詳しくは、国東市観光協会まで TEL0978-72-5168



世界農業遺産の里 農村民泊のススメ

グリーンツーリズムは、農家等に滞在して、農山漁村の仕事や生活を実感し、自然と文化に触れ合うことで心のゆとりを持てるようになる旅です。まさに国東市が誇る世界農業遺産と六郷満山文化のように日本の原風景を楽しみながら休暇を過ごすことがこれからのトレンド(流行)となります。国東市観光協会では、農家民宿を営む方を増やす取り組みとして、農村民泊セミナーを開催します。関心のある方は、ぜひ参加してください。

○農村民泊セミナー

平成28年11月4日(金) 国東市サイクリングターミナル 午後6時～8時

セミナー内容:農泊先輩経営者から体験談・農泊の開設へススム

詳しい内容については、下記までお問い合わせください。

【問合先】 国東市観光協会グリーンツーリズム事業部 ☎0978-72-5168

「六郷満山開山1300年祭への誘い通信②」

みなさんこんにちは、宇佐国東半島・六郷満山開山1300年誘客キャンペーン実行委員会事務局の矢野千城です。

みなさんは「六郷満山って何なん?」と聞かれたら、どう答えますか。国東市に住んでいる方でも、なかなか回答は難しいのではないのでしょうか。その理由として、みなさんがイメージする六郷満山がそれぞれ違うからだと思いますが、今回は六郷満山という言葉の由来に触れてみましょう。

古代の国東半島には、来縄、田染、伊美、国東、武蔵、安岐の六つの郷(昔の行政単位)があり、これらの郷をまとめて「六郷」と呼びました。よって、「六郷」という言葉は「国東半島地域」という意味も持っています。

六郷満山の「山」は、お寺そのものを意味します。国東市でいえば両子寺は「足曳山」、文殊仙寺は「峨眉山」、有名所であれば天台宗総本山の延暦寺は「比叡山」というように、お寺は別名としての山号を独自に定めています。「六郷山」という山は実際にはありませんが、国東半島をひとつの山(六郷山)と捉えれば、「六郷山」という言葉には国東半島に所在するお寺の総称としての意味合いがもたらされます。そして、当初は「六郷山」と称していた国東半島の寺院群ですが、のちに「満」の字を加えて「六郷満山」と称するようになりました。

六郷満山には解明されていないことも多く、現在も研究が続いています。みなさんも1300年の節目を機会に、六郷満山について調べてみてはいかがでしょうか。調べれば調べるほど、ふるさと国東の素晴らしさに気づくことでしょう。われわれの祖先が1300年間守り継いだ歴史の重みをかみしめ、次の1400年祭につなげる気持ちでキャンペーンを展開したいと考えています。

問合先 六郷満山開山1300年祭事務局 TEL0978-22-3100

国東半島宇佐地域 六郷満山開山1300年 2016 ライトアップイベント

< 両子寺 > 11月18日(金)ライトアップのみ 拝観料 500円
19日(土)声明(午後6時30分～) 拝観料 1,000円

< 文殊仙寺 > 11月25日(金)声明(午後5時30分～) 拝観料 1,000円
26日(土)八千枚大護摩供(終日) 拝観料 無料

【ライトアップ点灯時間】午後5時30分～午後9時

問合先 六郷満山開山1300年祭事務局 ☎0978-22-3100